

第2サポートセンターつぼみ



～スモールステップの大切さ～

中村 麻理子

朝夕、めっきり冷え込み、山々は色どりも鮮やかな季節です。つぼみでは、スモールステップに基づいた療育を行っています。

皆様も御存じかとは思いますが、スモールは「小さい」ステップは「歩み」大きな目標に向かって行く時でも大事な小さな一步一步を積み重ねて行く事です。

今の一步先を見て少しずつ進んでいこうというのが「スモールステップ」の考え方です。目標は大きく、目標として持っていていいのです。

その為にまず、どんな事が出来るかを考え、今出来ることを確実に丁寧に見守ります。

療育の活動科目は（ADL訓練、IADL訓練、調理実習、総合学習、社会体験、制作活動、自然体験、学習）などがあり、その1つ1つに目標を立て、個々の力に合わせて取り組みながら、日々の療育を行っています。

写真にあるのは、釘と釘との間に輪ゴムを掛ける。

お手本を見ながら更に解りやすくカラーシールで印をつけて順番に掛けて行く規則性の理解・注視・追視・イメージ力を養う療育です。

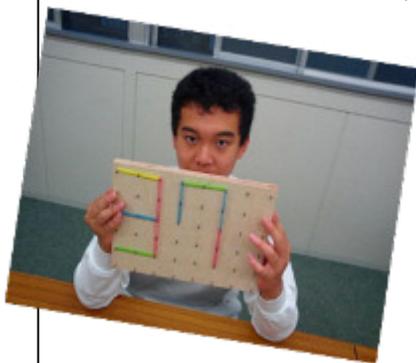
最初は、悪戦苦闘・・・何度も失敗を重ねましたが、上手く出来る様になりました。

この満足感・達成感が自信へとつながり、次のステップへの意欲を持たせてくれるのです。

又、清掃活動（IADL訓練）では取り組んできた手順とは違う方法で行動

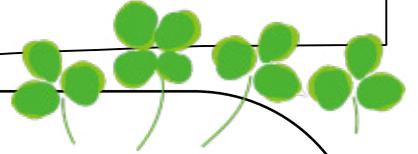
をしている子がいました。「自己流」になる事で見落としが生じます。手順を再度確認しながら取り組む事で確実に工程を理解していきます。清掃活動の基本動作を確実にすることで、環境(場)が変わっても対応できるよう学んでいます。

初めは小さな歩みでも、一步一步とスモールステップが進んでいる事を実感しました。これからもつぼみの子供たちが一步一步前進出来る様、私自身もスモールステップして行きます。



ワークサポート光

就労移行支援



学び

西尾 保洋

朝の冷え込みがいっそう厳しくなってきました。そんな寒さの中、ワークサポート光の彼らはポロシャツから作業服へと衣替えをし、今日も実習へ向かっています。

さて、10月、11月は彼らの仕事場に実習生がやってきました。彼らは先輩として振る舞うことができたのでしょうか？

日々の流れの中で少しの変化で結果が変わってくるなんてことは誰にでもあるはず。朝の朝礼、3分間集中、仕事場での作業で彼らの平常心が試されます。

そして、初めて仕事を経験する実習生達は社会のルールと会社のルールをジョブの言葉と、先輩の背中から学びます。

実習生達の主な仕事は自転車部品のバリ取りです。

製品を一本ずつ手に取り、目で確認し、バリを取る。何気ない作業の中に、効率性が求められ、完成品には品質性が求められます。

始めたばかりのころは見逃しがあったり、バリが手袋にくっついてペースが遅くなったりと課題がたくさんありました。

実習が終わるころには、箱の準備から次の仕事の準備まで出来るようになりました。仕事を覚え、自分の力とすること・・・

これを成長と呼ぶのでしょうかね♪

そして、ワークサポート光現役の彼らは日々の作業のレベルアップを図ります。自分がやりやすい配置はどこか？手の動きと目の動きを考え、ジョブと共にどうすればよりよい製品ができるのか、品質性、効率性、生産性を追求していきます。

彼らは毎日、仕事面と生活面の目標を決めて会社に向かいます。昨日より今日、今日より明日、積み重ねが実力となっていけるように見守っていきたいと思います。



初めて触れる製品に最初は戸惑いました(一一)



学び、実践し、振り返る！！

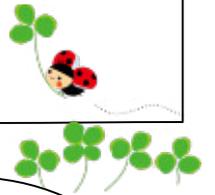
Trick or Treat

\(^o^)/



ジョブサポート光成

就労継続支援 B型



学び合いと刺激のし合い

水向 美央

寒さが増してきた今日この頃。2013年も残り1ヵ月になりましたね。その時期になると、今年を振り返る時間が増え「もう1年が終わる」が口癖になってきます。毎年、この流れは変わらずなんですよ(笑)



さて、光成では10月・11月にかけて大きく変わったことについて紹介したいと思います。

まず1つ目。衣類の変化に伴い、毎日のように発注書が届き、加工し、商品を納品する。そして、多くの在庫も届き・・・と在庫の変動が多い時期になってきました。その為、何枚あって、何枚欠品しているのか、また何が優先で何を加工しなければならないのか等四苦八苦・・・。

そこで、彼らと今後どのように進めていくとより分かりやすいかを話し合いました。話し合いの結果、「責任者」を作ろうということに決定！！「在庫責任者」「備品責任者」「補佐」等の役割を作りました。「責任者」その言葉を聞くだけで、責任重大。出来るかなという不安を抱えている方も見えました。しかし、役割分担後は一人一人が自分の仕事に慎重になり、責任を持って取り組むように変化してきています。

2つ目。コピーセンター中部様のご理解を頂き、看板作業が始まりました。工事現場にあるお知らせ等が書かれている看板がありますよね。その工事看板等の貼り付け作業を行っています。貼り付けの中には、多くの作業があるのです。運搬された看板枠を作業室に運び拭く仕事、またシートをカットする仕事、貼りの仕事、ネジで板を止める仕事・・・。一つの看板を完成させるのに、様々な工程があって完成していくのです。今回は、実習生とともに



に行き、試行錯誤の連続。初めての仕事に苦戦する様子がありました。しかし、必

死に覚えようとする姿、また優しく実習生に教える姿が見られ、日ごろとはまた違う一面が見られました。実習生については初めての環境でしたが、会社の雰囲気を感じ、また先輩たちの姿を見ながら、良い刺激になったのではないのでしょうか。今回、互いに学び合いが出来た1ヶ月間でした♪



時には外食☆

最後に・・・(*~*)こんな一面を紹介！！

仕事は、緊張感を持って取り組んでいる彼ら。しかし、昼休みは気持ちを仕事モードからオフモードに切り替えるのです。決まって月曜日は、休みの日の出来事を言い合いながらスタートするのです。

中華？和食？フレンチ？(笑)

